

## 第9回アンケート結果（抜粋）

### 1. 一般講演2：「エンドユーザ開発による企業内情報化への取り組み」

1. 本システムの対象範囲は製造管理のみでしょうか？中小企業では部品の製造のみを行なうことが多いと考えられるため、親会社からの注文・設計データの検証機能も必要と考えますが、このような分野への対応はいかがでしょうか？

（回答）設計データとしての CAD データ（STEP 形式等）を読み込む機能などは提供していきまして、それを利用したアプリケーションの一例として CAD データ品質チェッカー（MZ Checker）が配布物に含まれています。ただし、このような CAD データを対象とした各種処理の作り込みをするためのコンポーネントの機能が現段階では充分ではありませんので、その部分でも開発を進めたいと考えています。

2. 最初導入する時間がどの程度かかるのか疑問に思いました。

（回答）一概には言えませんが、ある程度の操作方法を習得していただくのに 1 日から 1 週間程度あれば充分だと思います。また、各種サンプルやチュートリアルを豊富にご用意しておりますので、数日から数週間程度あれば機能を組み合わせたりカスタマイズしたりでシンプルなアプリケーションを作成できると思います。一方、企業内で実際に稼働するアプリケーションの開発という観点では、対象となる業務の分析やデータベースの設計などに時間がかかりますので、全体で半年から 1 年程度は必要だと思います。その場合でも、シンプルなアプリケーションから徐々に大きなシステムに拡張していくことができますので、比較的早い段階からシステム稼働イメージをつかみやすいと思います。

3. なかなか興味深いシステムでした。

4. MZ Platform に大変興味を持ちました。MZ プラットフォーム研究会HPにアクセスしようと思います。

5. エグゼキュータブル環境が有意義だと思う。使ってみたい。

6. 普及のためには、発表されていた通り、再利用可能なコンポーネントDBのようなものが有効と考えます。

7. 中小企業診断士のネットワークを活かして、中小製造業へのプロモーションや導入を手がけていくのも良いかと思いました。

8. 産総研のコーディネーションにより、ユーザー企業が参連／自社のために Apply される具体的なケースであり、今後の更なる展開をされると思います。

（回答）好意的なコメントを多くいただき、たいへんありがたく思います。今後とも地道な活動を続けて、多くの方々に使っていただけるように努力いたします。